



よう らん
揺籃

揺籃(ようらん)とは「ゆりかご」のことです。本校の校歌の一節に「霊の揺籃 わが母校」とあります。中条校は、生徒の皆さんにとって精神(魂)をすこやかに育む「ゆりかご」でありたいと思っています。

第52回 **西楼祭** 特集
ONLY STAR ~輝け! 78の綺羅星~

昭和41年に「西楼祭」と名付けられてから、今年で52回目を迎えた文化祭。今年のテーマは「ONLY STAR ~輝け! 78の綺羅星~」。生徒一人一人が主役となって参加できる文化祭にしたい、全校生徒でこの文化祭を楽しみたい、そんな思いが込められたテーマでした。限られた時間の中で、展示(各学年、美術作品、ステージバック等)、前夜祭の準備、ステージ発表のリハ、運動会のリハと模擬店の準備、そして、後夜祭の準備・・・と78名の生徒一人一人が準備に関わる姿がありました。



10/6(金)前夜祭では、3on3、3人4脚、借り物競走、アームレスリング、早食い・早飲み、ジェスチャーゲームなど、学年対抗で楽しみました。温かい声援が心地よい時間となりました。

10/7(土)校内祭では、選択音楽の発表、各学年発表、職員発表を行いました。最後には『信州プロレス』に来校してもらい、生徒と職員が加わってプロレスを楽しみました。



2回西楼祭

ONLY STAR

10/8(日)地域キャンパス校となってから、全校で参加している中条地区住民運動会。前日の雨で開催が心配されましたが、関係者の皆様の懸命な整備作業のおかげで予定通り行うことができました。樽転がしリレーなど、高校生が体験できない種目もあってたいへん盛り上がりました。各学年からは、「やきとり」、「フランクフルト」、「お菓子とお茶セット」などの模擬店も出され、地区運動会の盛り上げに一役買ったように思います。また、家庭で眠っている食材を福祉施設や生活困窮者に届ける『フードドライブ』の活動を2年生が行いました。



10/9(日)運動会に続いて後夜祭が行われました。各種表彰の後、文化祭を振り返る“スライドショー”、軽音楽同好会による“ライブ”が行われました。ライブの最後には、中条校の鈴木教諭が作詞・作曲を手がけたオリジナルソング“ONLY STAR”を全校で歌いました。生徒と職員と一緒にバンドを組んで演奏・・・中条校ならではの光景でした。

文化祭のフィナーレは、中条校伝統の“花火”。夜空に光る花火を全校で見上げ、数日間の“西楼祭”を振り返っていました。

